



## 2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月11日

上場会社名 システムズ・デザイン株式会社  
コード番号 3766 URL <https://www.sdcj.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 隈元 裕

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼経営管理部長 (氏名) 長谷 賢一

TEL 03-5300-7800

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	4,568	15.0	264		268		162	
2022年3月期第2四半期	3,973		5		18		5	

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 155百万円 ( %) 2022年3月期第2四半期 10百万円 ( %)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	47.59	
2022年3月期第2四半期	1.74	

(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日)等を前第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第2四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の金額となっております。

このため当該基準等を適用する前の2021年3月期第2四半期連結累計期間に対する増減率は記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期第2四半期	5,608	3,983	71.0	1,169.12
2022年3月期	5,440	3,878	71.3	1,138.35

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 3,983百万円 2022年3月期 3,878百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		15.00	15.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,234	10.7	415	24.4	419	18.4	246	2.9	72.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	3,500,000 株	2022年3月期	3,500,000 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	92,685 株	2022年3月期	92,685 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	3,407,315 株	2022年3月期2Q	3,405,785 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報、(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	9
(収益認識関係)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大があったものの、持ち直しの動きが続きました。一方で世界的な金融引締めが続く中、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっております。また、供給面での制約、金融資本市場の変動等を十分注意する必要があります。

当社グループの属する情報サービス分野においては、新型コロナウイルス感染症の影響により、企業のテレワーク環境の整備などのワークスタイルの変革や、生産性の向上、競争力強化のためのDX（デジタルトランスフォーメーション）の取り組みが加速しており、社会全体としてもデジタル化への更なる転換が求められております。一方で、物価上昇による家計や企業への影響や供給面での制約等が懸念されるなど、依然として先行き不透明な状態が続くと想定され、引き続き国内外の動向を注視する必要があります。

このような状況の下、当社グループでは、新型コロナウイルス感染予防ガイドラインに沿った対策を講じ、従業員の在宅勤務や時差出勤等を推進しつつ、継続案件や新規案件の受注確保、低採算案件の収益性の改善、人材育成及び採用活動への投資などに注力してまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は4,568,722千円（前年同期比15.0%増）、営業利益は264,703千円（前年同期比4,551.6%増）、経常利益は268,921千円（前年同期比1,368.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は162,162千円（前年同期は5,917千円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ① システム開発事業

システム開発事業につきましては、既存顧客のシステムリプレースに伴う案件受注が集中したことに加え、ローコード開発ツールを活用した開発業務も順調に推移したことにより、売上、利益共に伸長しました。また、子会社の業績も堅調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,538,837千円（前年同期比26.2%増）、営業利益は176,785千円（前年同期は16,863千円の営業損失）となりました。

#### ② アウトソーシング事業

アウトソーシング事業につきましては、新規案件の獲得や主要顧客からのコンタクトセンターサービスなどの受注が堅調に推移いたしました。また、子会社においては新型コロナウイルスにかかる医療保険の請求等が増加したことにより、売上、利益共に順調に推移しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は2,029,885千円（前年同期比3.5%増）、営業利益は87,917千円（前年同期比289.8%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、現金及び預金の増加等により前期末比167,966千円増の5,608,098千円となりました。純資産は、親会社株主に帰属する四半期純利益の発生による利益剰余金の増加等により前期末比104,827千円増の3,983,558千円となり、自己資本比率は71.0%となりました。

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前期末比264,787千円増の2,695,009千円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動により獲得した資金は363,637千円（前年同期は166,998千円の獲得）となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益が268,921千円、売上債権及び契約資産の増減額96,980千円によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動により使用した資金は45,936千円（前年同期は23,349千円の使用）となりました。これは主に投資有価証券の取得による支出10,000千円、有形固定資産の取得による支出10,886千円、ソフトウェアの取得による支出7,912千円、敷金及び保証金の差入による支出4,740千円によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動により使用した資金は52,913千円（前年同期は47,122千円の使用）となりました。これは主に配当金の支払額51,109千円によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2022年5月13日の「2022年3月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,430,222	2,695,009
受取手形、売掛金及び契約資産	1,584,153	1,487,173
商品及び製品	30,875	34,946
仕掛品	2,204	15,787
原材料及び貯蔵品	4,681	6,059
その他	95,673	88,429
貸倒引当金	△1,373	△959
流動資産合計	4,146,437	4,326,446
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	437,308	439,685
減価償却累計額	△297,832	△302,913
建物及び構築物(純額)	139,476	136,771
土地	107,273	107,273
リース資産	16,500	16,500
減価償却累計額	△7,972	△9,340
リース資産(純額)	8,528	7,160
その他	285,753	293,915
減価償却累計額	△243,333	△248,693
その他(純額)	42,420	45,221
有形固定資産合計	297,698	296,427
無形固定資産		
のれん	300,214	257,388
ソフトウェア	1,928	7,810
その他	7,644	7,644
無形固定資産合計	309,788	272,843
投資その他の資産		
投資有価証券	67,851	70,526
繰延税金資産	313,199	315,792
その他	305,157	326,061
投資その他の資産合計	686,207	712,380
固定資産合計	1,293,694	1,281,651
資産合計	5,440,131	5,608,098

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	42,142	25,594
リース債務	2,998	2,389
未払金	530,934	507,584
未払法人税等	64,074	123,434
契約負債	42,285	58,770
賞与引当金	174,966	206,596
その他	203,602	193,816
流動負債合計	1,061,004	1,118,186
固定負債		
リース債務	6,371	5,176
繰延税金負債	316	—
役員株式報酬引当金	11,220	15,116
退職給付に係る負債	443,444	447,120
資産除去債務	3,113	3,113
その他	35,929	35,826
固定負債合計	500,395	506,353
負債合計	1,561,400	1,624,539
純資産の部		
株主資本		
資本金	333,906	333,906
資本剰余金	293,629	293,629
利益剰余金	3,259,717	3,370,770
自己株式	△44,694	△44,694
株主資本合計	3,842,559	3,953,611
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,694	1,723
退職給付に係る調整累計額	29,477	28,223
その他の包括利益累計額合計	36,172	29,946
純資産合計	3,878,731	3,983,558
負債純資産合計	5,440,131	5,608,098

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
売上高	3,973,623	4,568,722
売上原価	3,224,219	3,579,008
売上総利益	749,403	989,713
販売費及び一般管理費	743,713	725,010
営業利益	5,690	264,703
営業外収益		
受取利息	17	5
受取配当金	2,034	1,933
助成金収入	9,442	1,824
受取保険金	526	—
その他	606	453
営業外収益合計	12,626	4,217
経常利益	18,317	268,921
特別損失		
固定資産除却損	1,145	—
特別損失合計	1,145	—
税金等調整前四半期純利益	17,172	268,921
法人税等	23,090	106,758
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,917	162,162
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△5,917	162,162

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△5,917	162,162
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,727	△4,971
退職給付に係る調整額	△1,013	△1,254
その他の包括利益合計	△4,741	△6,225
四半期包括利益	△10,659	155,936
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△10,659	155,936
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	17,172	268,921
減価償却費	11,175	12,621
のれん償却額	42,826	42,826
賞与引当金の増減額 (△は減少)	30,441	31,630
役員株式報酬引当金の増減額 (△は減少)	2,496	3,896
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△224	△414
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	△12,050	—
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△123	1,867
受取利息及び受取配当金	△2,051	△1,939
助成金収入	△9,442	△1,824
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	255,682	96,980
未払金の増減額 (△は減少)	△48,114	△21,783
棚卸資産の増減額 (△は増加)	2,909	△19,031
仕入債務の増減額 (△は減少)	△12,791	△16,548
その他	△44,306	9,412
小計	233,599	406,613
利息及び配当金の受取額	2,047	1,939
助成金の受取額	9,442	1,824
保険金の受取額	526	—
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△78,617	△46,740
営業活動によるキャッシュ・フロー	166,998	363,637
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	—	△10,000
有形固定資産の取得による支出	△1,369	△10,886
ソフトウェアの取得による支出	—	△7,912
敷金及び保証金の差入による支出	△22,159	△4,740
敷金及び保証金の回収による収入	1,864	—
その他	△1,684	△12,397
投資活動によるキャッシュ・フロー	△23,349	△45,936
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△44,262	△51,109
その他	△2,859	△1,803
財務活動によるキャッシュ・フロー	△47,122	△52,913
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	96,527	264,787
現金及び現金同等物の期首残高	2,341,434	2,430,222
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,437,961	2,695,009

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純損益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

但し、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、税引前四半期純損益に一時差異等に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	システム開 発	アウトソー シング	合計		
売上高					
外部顧客に対する 売上高	2,011,985	1,961,637	3,973,623	—	3,973,623
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	2,011,985	1,961,637	3,973,623	—	3,973,623
セグメント利益又 はセグメント損失 (△)	△16,863	22,553	5,690	—	5,690

(注) セグメント利益又はセグメント損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	システム開 発	アウトソー シング	合計		
売上高					
外部顧客に対する 売上高	2,538,837	2,029,885	4,568,722	—	4,568,722
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—
計	2,538,837	2,029,885	4,568,722	—	4,568,722
セグメント利益	176,785	87,917	264,703	—	264,703

(注) セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	システム 開発	アウトソ ーシング	計		
一時点で移転される財又はサービス	148,703	98,494	247,197	—	247,197
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	1,863,282	1,863,143	3,726,425	—	3,726,425
顧客との契約から生じる収益	2,011,985	1,961,637	3,973,623	—	3,973,623
外部顧客への売上高	2,011,985	1,961,637	3,973,623	—	3,973,623

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額	合計
	システム 開発	アウトソ ーシング	計		
一時点で移転される財又はサービス	230,042	97,382	327,425	—	327,425
一定の期間にわたり移転される財又はサービス	2,308,794	1,932,502	4,241,297	—	4,241,297
顧客との契約から生じる収益	2,538,837	2,029,885	4,568,722	—	4,568,722
外部顧客への売上高	2,538,837	2,029,885	4,568,722	—	4,568,722